# 愛知県立岡崎高等学校創立 130 周年記念事業

# 募金趣意書

一 未来へつなぐ思いをかたちに―



皆さまには、日頃より岡崎高校の歩みと発展にあたたかなお力添えを賜り、心より御礼申し上げます。

岡崎高校は、明治29年(1896年)4月に「愛知県第二尋常中学校」として開校し、令和8年(2026年)4月に創立130周年を迎えます。学校制度(教育制度)の変遷を経ながらも、「たかい知性、ゆたかな情操、たくましい心身を兼ね備えた、国家・社会の有為な形成者の育成」を教育目標に掲げ、これまでに3万5千余名の有為な若者を社会へと送り出してきました。

本校の校歌── "♪段戸の山にゐる雲は いつしか消えて朝はれぬ"に始まり、"♪岡につどへばわがゆくて 希望 (のぞみ) 輝きわたるかな"で締めくくられるこの歌は、昭和 4 年 (1929 年)、旧制中学校時代に制定されたものです。また、大正 13 年 (1924 年) に現在の明大寺町伝馬の校地に移転して以来、令和 6 年 (2024 年) には移転 100 年という節目を迎えたことになります。

このように、私たちは同じ地で、同じ校歌を歌い、同じ校舎で学ぶという経験を通じて、時代を超えて心を通わせています。岡崎高校で過ごした日々の記憶は、人生の支えとなり、母校への誇りと絆を強く育んできました。

現在、こうした歴史と伝統を受け継ぐ岡崎高校は、公立高校の中でも高い評価を受けており、全日制・定時制あわせて約1,250名の生徒たちが、個性を伸ばしながら学びに励んでいます。

私たちは、この母校がこれからも新しい時代の担い手を育み、巣立った若者たちがそれぞれの場で社会を照らす存在として活躍することを心から願っています。創立 130 周年という大きな節目を機に、記念事業を通じて、教育環境のさらなる充実を図るとともに、同窓生どうしの絆を深める活動を推進してまいります。

このたびの記念事業では、5,000 万円を目標とする募金活動を行います。これは、未来を担う生徒たちがよりよい環境で学びを深めていくための、私たち一人ひとりの思いをかたちにする取り組みです。

つきましては、本事業の趣旨にご賛同いただき、募金活動へのご理解とご協力を賜りますよう、 心よりお願い申し上げます。皆さまお一人おひとりのご厚意が、岡崎高校の次なる時代を支える確 かな礎となります。

令和7年8月

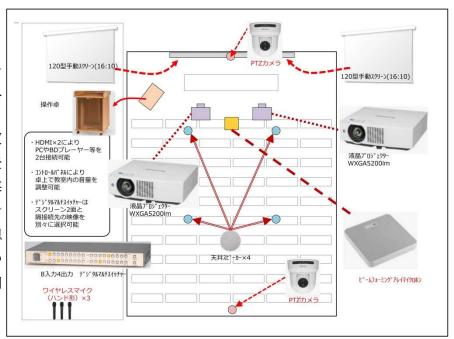
愛知県立岡崎高校学校 創立 130 周年記念事業実行委員会 実行委員長 増田義彦

# I 記念事業計画

#### 1 教室の ICT 機能の向上

#### (1)物地教室

物地教室に遠隔コミュニケーションシステムを導入します。これにより全国・全世界のゲスト講師との双方向の対話方式での特別授業や講演、他校の生徒や海外の生徒とのディスカッションなど、様々な用途が想定され、母校の教育水準のさらなる向上に資すると期待します。



#### (2) 普通教室(30教室)

普通教室には県標準のプロジェクタやスクリーンは整備されていますが、機材の性能の問題やその設置場所により教室が狭くなるなど授業展開に不都合を生じています。このため教室前面の壁面に超短焦点プロジェクタ及び巻上マグネットスクリーンを設置します。



#### 2 記念行事の開催

130周年を記念し、令和9年10月2日(予定)に記念式典、講演会を開催いたします。同時に、関連する記念事業を実施するとともに、卒業生相互の絆を深めるための事業を企画します。また、継続的な絆づくりにも貢献します。

#### 3 教育基金の拡充

創立120周年記念事業で創設された教育基金は2千万円を原資とし平成29年4月から 運用を開始し、その後も同窓生の皆さま並びに在校生の保護者の皆さまから篤い寄付を賜 り、国際交流事業への支援、学業や部活動への支援、施設・設備の整備、備品の寄付などを 行い、長きにわたり母校を応援してまいりました。このたび130周年を機に教育基金を拡 充させ、近日の科学技術の革新的な進展やグローバル化、高度情報化に即応する教育環境の 実現を応援します。

# Ⅱ 募 金 要 領

「 I-1 教室の ICT 機能の向上」は物品寄付(特定寄付)とし、「 I-2 記念行事の開催」「 I-3 教育基金の拡充」は一般寄付とします。

前者の物品寄付(特定寄付)については法人税法第37条第3項第1号及び所得税法第78条第2項第1号に規定する「国又は地方公共団体に対す寄附金」に該当する承認を受けています。

特定寄付と一般寄付とは募集期間、振込口座等が異なりますので、御希望に添う募金内容をご選択のうえ、お取り間違いのないようお願いいたします。

#### 1 募 金 目 標 額

総額 5,000 万円

#### 【物品寄付(特定寄付)】

I-1 教室の ICT 機能の向上

# 金 21,933,340 円

#### (1) 物品寄付(特定寄付)

(ア) 募金期間

<u>令和7年8月1日~令和8年7月31日</u> ただし、募金が目標額(21,933,340円)に到達 した時点で終了します。

(イ) 申込方法

○振込

■ 岡崎信用金庫本店営業部普通 9167794

■ 三菱 UFJ 銀行岡崎支店 普通 0456716

名義はともに「愛知県立岡崎高等学校創立 130周年記念事業実行委員会委員長 増田義彦」です。

○現金 事務局(母校内)にご持参ください。□付記

■「国又は地方公共団体に対す寄附金」に該当する税法の適用について

この税法の適用を受けるためには、その旨を 記載した領収書が必要となります。振込で寄付 された場合は領収書を郵送します。

# 【一般寄付】

I-2記念行事の開催

I-3教育基金の拡充

金 28,066,660 円

#### (2) 一般寄付

(ア) 募金期間

令和7年8月1日~令和9年10月31日

(イ) 申込方法

○振込

■ 岡崎信用金庫本店営業部普通 9167809

■ 三菱 UFJ 銀行岡崎支店 普通 0456892

名義はともに左記(1)特定寄付と同様です。

■ 郵便振替(口座記号番号)00870-7-139085

■ 郵便振替(他行から郵便局への振込)

0八九店 当座 0139085

郵便局の名義は「愛知県立岡崎高等学校創立 130周年記念事業実行委員会」です。

○同窓会 HP からのオンライン決済
Stores サイトからクレジットカード、Paypay など多様な方法で払込が可能

○現金 事務局(母校内)にご持参ください。 □付記

領収書は振込受領書等をもってかえます。別に領収書が必要な方は事務局にお申し出ください。

#### (1) 物品寄付(特定寄付)つづき

なお、領収金額は振込手数料を控除した後の実行委員会が受領した金額になります。この寄付は税制優遇の対象となり、個人でご寄付いただいた場合には、寄付金額から2,000円を差し引いた金額が所得から控除され、所得税や住民税の軽減を受けることができます。税制上のメリットに加え、領収書の発行・郵送にかかる事務経費等を考慮し、ご寄付は原則として2万円以上にてお願いしております。

■物品は購入後すみやかに岡崎高校の備品と して愛知県に寄付いたします。

#### 寄付金額について

- 同窓生 御一人5,000円以上 (できる限り多くの御協力をお願いします。)
- PTA 御一人3,000円以上 (できる限り多くの御協力をお願いします。)
- 法人・篤志家寄付 (同窓生・PTA以外の法人・個人の方)金額の 規定はございません。)
- 同窓生、PTAの方からの基準額以下の 寄付も受け付けます。

#### (3) 振込依頼人の記入について

郵便局の「振込取扱票」以外の方法での振込みの際には、お名前のみでは個人の特定が難しくなります。下表を参考に、記号(数字)をお名前の前に付けてください。

### 特に(1)環境整備の寄付は別途領収書を郵送するため必ず入力してください。

■振込依頼人のお名前を記入する際の注意

区分	記入方法(注意事項等)	記載例
同窓生	【会員コード+お名前】で記入してください。不明な場合は卒業年も可	
	◎会員コード(封書の宛名用紙に掲載あり)	K○○□□□オカコウタロウ
	○卒業年を記載 例)昭和 50 年 3 月卒業※ 2	S50オカコウタロウ
保護者	「P」+学年組、生徒氏名 ※3	P301アオイヨウコ
企業・	「A」+会社名または個人のお名前を記入し	Aオカサンショウジ
一般賛同者	てください。 ※4	Aオカコウハナコ
教職員 (現旧)	「B」+お名前を記入してください。	Bヒガシイチロウ

- ※2 同窓生の卒業年を記載された方は、卒業年と氏名から教育制度(全定等)を事務局で特定します。
- ※3 (1)環境整備に係る寄付の場合、後日お子さんを通じて寄付者氏名をお伺いします。
- ※4 入金後、住所などを確認のため、実行委員会事務局 (0564-58-5959) にご連絡いただくか、別途同窓会HPの専用フォームにご連絡先をご登録ください。

#### 2 広告募集について

- (1) 金額1ページ1 2 万円1/2 ページ6 万円1/3 ページ4 万円1/4 ページ3 万円
- (2) 掲載 方法 記念式典・講演会において配布する冊子に掲載いたします。
- (3) お申込み方法 同封の名簿用ハガキに記入して郵送していただくか、直接事務局 へお申込みください。原稿等については後日連絡いたします。
- (4) 広告募集期間 令和7年8月1日~令和9年7月31日

#### 130 周年発起人名簿 \*は、学年代表、同窓会役員

【高校 1 回】 林 重喜

【高校 2 回】 名城政次郎 岡田庸男

【高校 3 回】 早川桂三 左右田健次

【高校 4 回】神谷公也

【高校 5 回】 杉浦正健

【高校6回】 種井誠雄 岡田吉春

【高校 7 回】 山内 脩

【高校 8 回】 山本研二 野本幹夫

【高校 9 回】 酒井治盛 新海真二 鈴木 忠

【高校 10 回】 安藤 駿 八田玄二

【高校 11 回】 中根勝美\* 宮川 達\*

【高校12回】 三井政宿宏 加藤義宜 本本質正 本本拓哲 山内廣子

【高校 13 回】 酒井俊晧 真木宏哉 藤田訓弘 内藤六市

【伊富古磯加福平浅大中高蘇田澤雄藤田田井広垣村。 改徳 文昌 文昌 文昌

水谷鏡子

【松大平菅鶴鋤鈴河杉倉鍋遠平高井久野 田柄木野田橋田山野校利保有富瑞実康充 昭敏隆晃15幸武行貴枝生夫子峻子子夫一回】

【高校 16 回】 天野茂樹\* 門野史明 佐宗公雄

【高校 17 回】 東新家英二\* 吉野 功 佐々木真一

【高校 19 回】 渡辺要市\*

【高校 21 回】 岸本 剛\* 近藤憲康 早川久右衛門

【高校 22 回】 山川利治 酒井真知子 星野舞夫 富田秀子 田内美雄 榊原達雄

【小岡米小小子 高山田津田田田原本 一一利 一一利 一一利 一种原本 秦弘 八小榊山加林

【本河大大石北小市伊高多木島山河村笠橋澤山河村笠橋澤田正 原章 議剛男治

本多育男

【 a c 27 回】 高原 表明 高原 泰明司 京泰研 知 一 一 大太大加藤 大大大加藤

加藤恵子

田那村收\*深津智子\*柴田秀和\*林 郁夫\*

加藤達朗

加藤康子

加納栄寿

川上恭子

川澄佳充

児玉裕子

小山裕康

近藤純子

斉藤之康

佐野正憲

下村修之

杉山直人

須藤寿也

土屋高行

祖父江寿枝

都築喜一郎

八田欣也\*

広中安佐子

羽根博之

深津浩彦

藤井 潔

藤原波一

細田文一

宮川龍也

山内 章

浦田康子

森田曜子

成瀬 守

鈴木朋子

荒井孝子

神谷昭広

永田 勲

辻川幸弘

笹井まゆみ

岩瀬三紀\*

今泉真澄

馬場悦哉

長坂信人

長坂光司\*

磯谷正行\*

大田由美子

大久保玉惠

【高校 28 回】

権田真砂子

【高校 32 回】 壱岐俊一 石原和子 臼田 亨 岡田政道 五宝 直 嶋井郁夫 新海 聡 菅原達也 鈴木教夫 高井弘幸 坪井孝夫 土佐佳弘 南部 淳 二宮直樹 藤原一太 堀内友二 萩原啓至\*

【高校 33 回】 山本守正\* 中根康浩 天城宏紀 山本岳彦

【高校 34 回】 河原佐和子 板谷敏正 内藤正光 神戸伸輔 吉村玲子 井上由美子 平岩佐登美 浅井珠美 山本英子 山本富彦 伊奈富士美 鈴木美由紀 伊奈智恵子 高橋智汀子 柴田真澄 中根佐知子

中村吉彦

平野英一

八代香津子

柘植千明\*

高須久美子

小林亜紀子

小泉百合香

奈良祐子

犬塚由乃

長坂広行

稲葉静代

鳥居俊一

繁元あゆみ

原田一平

福應 浩

岡田敦嗣

臼井千夏

松井寛人\*

【高校 35 回】

【高校 30 回】 籾井泰晴 太田義男 磯谷尚孝\*

【高校 31 回】

小西雅代美 小田田貞明 小林谷垣 迅 稲月月 迅 中根 泰 下村泰

> 【江権大公 高校36回】 在大松松青赤酒村山 大松松青赤酒村田 大水水

【高校 37 回】 坂田佳樹\* 市川 章 近藤英明 浪崎浩光

【高校 40 回】 粟田聡子\* 花井公香 打越陽子 小野内隆裕 竹本美智代 神谷樹一郎 木野瀬美保 山口智美 下平 学 稲葉千穂子 大山博昭 佐々木民子 杉浦聖子 後藤千浩 森本裕子 内田 圭 加藤 真 永井美佐子

【高校 41 回】 山本徹真\* 小栗知之 大原理佐 平岡将暢 鈴木詠理 鋤柄秀幸 神谷智子 野中千恵子 伊東 毅 中西由美 小幡真也 金丸善一郎 立山秀利 宮治英夫 大野一成 天野あかり 三井俊之 玉森洋樹 杉浦文昭 光田達矢

【高校 43 回】 加藤浩文\* 市橋亮一 山下かおり 大川賢司 加藤初樹 村松 徹 上田 奏 中村拓稔 高橋 進 松本加奈 中根義高 鈴木規久 原田直樹 都築宏臣

【高校44回】 牧原利雄\* 海藤子斯太輔史司 金小斯須英見 柴田大知

【高校 45 回】 河村昌秀\* 佐野和弘 葵 是人 星野真二 西田幸代 小林幹人 成田宗孝 阿南 愛 徳永純治 國枝隆幸 田辺茂樹 伊藤崇博 筒井貴之 杉原圭太 近藤浩子 由良隆幸 荻野年世 栗原秀行 辻内理枝子 藤田広峰

【神本朝大玉谷猪鈴小小寺安高谷橋岡川澤幸田木田池尾藤校憲 大 昌一寛利謙要美 四大田池尾藤 中華 医大田 中樹 帝國

【林宇安藤月高和野藤喜和 等野藤喜和雅慶喜和 等野市 等事 等 等 等 计 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等 等 于 等

【高校 48 回】

出岡大作\* 青山紅門 青山周高志 所藤 近藤 万里

【高校 50 回】 中越淳助\* 中村俊介 神谷 建

【高校51回】 高橋友也\* 加藤敏宏 岡田路祐介 宮島祐介 古明岡亜希子

【高校 52 回】 成瀬友規\*

【高校 53 回】 新居理有 石川 紋 石川侑稼子 伊藤美奈 伊奈菜穂子 稲垣成晃 小川巻仁 加藤史朗 亀井有美 瞢 司 菊地万里子 木本真希 小坂雄一郎 杉崎文誉 須永裕之

高橋 遼 滝村浩史 中村智栄子 濱垣真太 水越建太 山本佐枝子

【高校 55 回】

谷加内棚河黑千西堀永浅小本藤田田原田賀川由坂井田東市山東田賀川由坂井田舞輔忍子香子輝麻子里哉徳\*

> 【高校 56 回】 鈴木大介\*

【高校 57 回】 鈴木健祐\*

成瀬茉里香\* 末木 豪 岩屋 萌

【高校 59 回】

内田恵章\*

三枝春香

織田幸司

杉田一記

杉山麻衣

竹内一喜

武田太樹

寺本祐衣

友枝俊介

八塚秀樹

小田敏雅

戸田降一

太田景子

【高校 60 回】

小野山洋紀\*

【高校 68 回】 西 淳平\*

本藤七海

【高校 70 回】

【高校 71 回】

生駒鋼樹\*

落合乾大\*

【高校 72 回生】

原田 大

中根礼乃

長谷川駿

村野夏海\*

高橋力丸

四方皓大

水谷真奈

前田燿亮\*

【高校 69 回】 【高校 61 回】 中村かんな\* 鈴木博皓\* 上田 司 青木孝志 加納有真 岩井将哉 野村 叶 小西翔太 渋谷賢佑 近藤亜里沙 杉浦完征 古田知也 物ト真一郎 松下祥己 田中奨悟 田中公一朗 村田郁美 青木友望 山口紗穂 大井 匠 安井来名 青野将大 山本梨乃 東 亮太 波多野珠喜

【高校 62 回】 原 祐太\* 長坂昌樹

【高校 63 回】 鈴木留依\*

【高校 64 回】 小山和哉\* 坂 誉文 長坂尚樹

【高校 65 回】 羽田 彩\*

【高校 66 回】 伊藤 佑\* 原依里奈 市川小夏

【高校 73 回】 宮 貴明\*

【高校 74 回】

三上絢也

太田琴子

及川勝永

鐵尾愛菜 加藤鴻志 片岡莉菜 平松憲人 田島千紗子 小林央河 小鳥 基 斉藤大河\* 今村日菜子 細野柚生 竹下 萃 \* 小林佳揮 佐々木媛梨 吉田篤史 小倉佳穂 門田雅樹 吉田 綾

【高校 76 回】 藤田真総 本本嶋高裁 本嶋 湯子結 第一 市 東 京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 【高校 77 回】 石黒寛翔 實田 結 山下雄生 小林明愛 緒方健太 岡 美希 岩城君春 山本空來 宇野聡真 鈴木結捺 田崎介盛 山内美桜 加藤瑠依 鈴木花怜 恩田隹汰 杉山妃来 本郷谷龍人 金田愛子 野々村優空 山下佳稟

# 愛知県立岡崎高等学校創立 130 周年記念事業実行委員会

電 話 0564-58-5959 (岡崎高校同窓会) ファクス 0564-55-9422 (岡崎高等学校事務室) ホームページ 岡崎高校ホームページ内より御覧ください。 http://www.okazaki-h.aichi-c.ed.jp/